

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みずふね体操クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日	～	令和7年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 14日	～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体操教室も同会社で運営しているため、運動療育・指導での情報や専門性の高い指導員を配置する事ができる。	子供達の好きな遊びを発展させられる様に色々な運動がすぐアクセス出来るよう準備されている。	新しい運動器具の設置や集団プログラムの充実を図りたい。
2	体育館があるため、天候に関係なく身体を思いっきり動かす事ができ、発散できる。トランポリン・マット・とび箱などの器具、環境が充実している。	子ども、それぞれの支援目標（5領域のうち運動・感覚）に応じて、運動療育のプログラムを組み、集団活動、個別活動に分けて取り組んでいる。	常に子供達の興味や関心は変わるので、様子を見て、定期的に関き取りをしてニーズに合わせ環境を整える
3	不登校児に対して、一定の着座の時間を設けられるよう声かけや、取り組めるよう教材を用意している。	本児に寄り添い無理せず登校できるように月一回、学校に連絡をとり、本児の情報を共有している。	学校側との連絡、保護者との連絡を密に行い、本児の思いを一番に考え、取り組んでいきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動療育のプログラムに時間を確保している為、特に夕方の学校のある利用日には、学習支援に限りがある。宿題以外の取り組みは難しい。	運動療育に時間の確保を行っている為。	可能な限り学習支援がスムーズに行えるように準備を行う。
2	公共の場での活動・体験を増やし、自立に向けて支援していきたい。	安全面を確保する方法が困難な場合がある。	買い物体験や公共の交通手段を利用するなど子供たちが楽しみながらできるようスタンプラリーなど企画する。
3			